

施策分析シート（令和5年度）

No1

施策名	快適な生活道路の整備	施策No	08-03	部課名	防災都市づくり部土木管理課
関連部課名	防災都市づくり部基盤整備課、建築指導課				
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		

目的
 区民に最も身近な都市施設である道路を誰もが安全に、かつ、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理を行うとともに、拡幅・改修等を行う。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①	周辺環境の快適さ	-	3.10	3.13	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
②	防災性	-	2.32	2.29	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
③	安全・安心の実感	-	2.76	2.74	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	陳情件数(件)	920	911	1011	900	860	平成18年度件数(2,129件)の縮減(道路・街路灯等)
②	細街路後退用地整備率(%)	46	47	48	49	52	整備延長/整備対象道路延長両側(自主整備含む)
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		3年度	4年度	差額	勘定科目		3年度	4年度	差額
	行政費用	給与関係費		165,041	155,653	▲ 9,388	地方税等		0	0
物件費			204,678	229,212	24,534	国庫支出金		4,544	8,375	3,831
維持補修費			287,804	297,694	9,890	都支出金		8,590	6,963	▲ 1,627
扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		4,774	0	▲ 4,774
補助費等			43,945	25,134	▲ 18,811	使用料及び手数料		759,621	884,446	124,825
減価償却費			138,627	144,269	5,642	その他		93,451	94,528	1,077
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		870,980	994,312	123,332
賞与・退職給与引当金繰入額			70,775	8,823	▲ 61,952	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 337,761	▲ 111,183	226,578
その他行政費用			297,871	244,710	▲ 53,161	金融収支差額(d)		▲ 895	▲ 753	142
行政費用合計(b)			1,208,741	1,105,495	▲ 103,246	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 338,656	▲ 111,936	226,720
特別費用(g)		28,987	2,538	▲ 26,449	特別収入(f)		64,299	0	▲ 64,299	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		35,312	▲ 2,538	▲ 37,850	当期収支差額(e)+(h)		▲ 303,344	▲ 114,474	188,870	

貸借対照表	勘定科目		3年度	4年度	差額	勘定科目		3年度	4年度	差額
	流動資産	収入未済		457	457	0	流動負債		16,516	13,756
不納欠損引当金			0	0	0	還付未済金		0	0	0
その他の流動資産			0	0	0	特別区債		8,015	6,395	▲ 1,620
有形固定資産			190,660,928	191,027,537	366,609	賞与引当金		8,501	7,361	▲ 1,140
土地			176,657,327	176,866,379	209,052	その他の流動負債		0	0	0
建物			0	0	0	固定負債		194,187	170,207	▲ 23,980
建物減価償却累計額			0	0	0	特別区債		76,498	70,103	▲ 6,395
工作物等			16,849,122	17,150,947	301,825	退職給与引当金		117,689	100,104	▲ 17,585
工作物等減価償却累計額			▲ 2,845,520	▲ 2,989,789	▲ 144,269	その他の固定負債		0	0	0
無形固定資産			0	0	0	負債の部合計		210,703	183,963	▲ 26,740
建設仮勘定		78,104	136,530	58,426	正味財産		190,529,998	190,981,773	451,775	
その他の固定資産		1,212	1,212	0	正味財産の部合計		190,529,998	190,981,773	451,775	
資産の部合計		190,740,701	191,165,736	425,035	負債及び正味財産の部合計		190,740,701	191,165,736	425,035	

財務諸表に関する特措事項等

- 行政費用の物件費は、街路樹やグリーンベルトの管理、道路清掃等に係る費用であり、令和4年度は路面下空洞調査を実施したため、令和3年度よりも費用が高くなっている。
- 行政費用の維持補修費は、主に道路改修費や道路応急工事費である。
- 行政費用のその他行政費用は、主に私道における細街路拡幅工事や補修工事等である。
- 令和3年度における行政収入の分担金及び負担金は、電線共同溝整備に係る建設負担金である。
- 行政収入の使用料及び手数料は、主に電柱等の道路占用料である。その他は、占用工事道路復旧費である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○平成26年度に道路ストック総点検を実施し、アスファルト舗装の路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ、凸凹確認等）の健全度を確認した。</p> <p>○令和4年度に路面下空洞調査を実施し、発見した空洞箇所については、占用企業者と連携し、順次補修を実施している。</p> <p>○紅葉坂跨線人道橋については、平成26年度にJR東日本と共同で、耐震診断、部材の健全度調査を実施した後、平成27年度にバリアフリー化を基本とした整備を行うことについて検討を進めることとした。JRからの申し入れにより、整備に着手する場合でも2020オリンピックとホームドアの設置が完了するまで待つこととなったため、令和2年度と3年度にエレベーター及び地元から要望を受けたエスカレーターの設置に向け調査、検討を行った結果、道路線形の大幅な見直しが必要なこと、地下埋設物が支障となることなど、多くの課題が判明した。</p> <p>○下御隠殿坂跨線道路橋と第二日暮里跨線橋については、5年に1度の法定点検において、予防保全を講ずる段階との判定が出ており、機能維持のために対策を講じていく必要がある。</p> <p>○バリアフリー基本構想及び重点整備地区の基本構想等に基づき、道路のバリアフリー化に取り組んでいる。</p>
課題	<p>○道路ストック総点検の結果、ひび割れやわだち掘れなどにより危険度の高い箇所については既に改修が完了しているが、道路を良好な状態に維持するため、引き続き、不良箇所の早期発見に努めていく必要がある。</p> <p>○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がる可能性があるほか、災害時においては避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念されることから、路面下空洞調査により得られたデータに基づき、空洞が疑われる箇所の改修を進める必要がある。</p> <p>○紅葉坂跨線人道橋については、エレベーター及びエスカレーターの設置に向け、引き続き検討を進めるとともに、JR東日本や京成電鉄、第六建設事務所、道路占用企業者、交通管理者と協議を行う必要がある。</p> <p>○跨線道路橋は、鉄道の上空を跨いでおり、補修工事を行うには、莫大な経費と工事期間が必要となることから、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的に補修を実施していく必要がある。</p> <p>○バリアフリー化が完了していない箇所や安全な通行に支障がある路線等については、計画的に改修を進めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○道路ストック総点検については基本的に、5年毎に実施し、損傷状況に応じて優先順位を付け、補修を行っていく。</p> <p>○路面下空洞調査については、舗装点検要領（国土交通省道路局）が定める点検頻度の5年に1回程度以上に倣って定期的な実施し、道路の安全性を確保する。</p> <p>○紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化については、引き続き検討を進める。</p> <p>○第二日暮里跨線道路橋、下御隠殿橋の補修・補強に向けて検討を進める。</p> <p>○バリアフリーに対応した歩行空間を整備するため、段差解消や歩道のセミフラット化などを無電柱化に併せて進めていく。また、街路樹の根上がりにより危険な箇所については、計画的に改修を行っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
5年度	6年度	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
道路占用等事務	11-03-01	29,907	11,510	1,536	977	継続	継続	道路及び公園を適正な状態で管理する上で必要な事業であるため、継続して実施する。
道路管理システム運営	11-03-03	7,648	5,243	2,715	2,610	継続	継続	道路管理事務や占用企業者の申請処理業務など、事務の効率化に必要な事業であるため、継続して実施する。
占用工事道路復旧事業	11-03-04	60,761	69,491	48,426	49,303	推進	推進	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路の良好な維持管理に不可欠な事業であるため、推進する。
道路管理事務	11-03-05	106,111	77,111	30,891	34,570	推進	推進	道路を適正に管理するために必要な事業であり、推進する。
日暮里駅前イベント広場等の運営管理	11-03-11	0	1,756	-	-	継続	継続	地域活性化イベントの開催を目的とした広場の適正な管理運営を行う事業であるため、継続して実施する。
道路ストック総点検事業	11-04-03	7,719	46,380	6,485	41,610	推進	推進	定期的に点検を実施することにより、道路利用者及び第三者への被害防止のための事業であるため、推進する。
道路清掃事業	11-04-04	72,360	64,614	63,222	54,341	継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路維持事業	11-04-05	241,112	237,301	76,943	82,234	継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路損傷復旧事業	11-04-06	4,295	4,770	0	0	継続	継続	道路附属物等の損傷に対応する手段の一つとして必要な事業であるため、継続して実施する。
道路応急工事事業	11-04-07	90,522	91,745	84,719	83,961	継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠な事業であるため、継続して実施する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
街路樹等管理事業	11-04-09	82,723	76,732	71,666	70,411	推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等を適正に維持管理する事業であるため、推進する。
道路改修事業	11-04-10	162,002	127,235	338,741	242,315	継続	継続	安全かつ安心して通行できる道路となるよう計画的な改修が必要な事業であるため、継続して実施する。
紅葉坂跨線人道橋整備事業	11-04-14	0	0	-	-	重点的に推進	重点的に推進	当該跨線人道橋はJRや京成の線路を跨いでおり、健全な状態を維持していくことが必要な事業であるため、重点的に推進する。
私道整備事業	11-04-19	47,256	27,763	37,501	24,252	継続	継続	公道を補完する機能を有する私道についても、公道に準じた整備を行う必要がある事業であるため、継続して実施する。
細街路拡幅整備事業（工事）	11-04-20	241,338	220,795	471,460	434,582	重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図る上で、細街路の拡幅は重要な事業であるため、重点的に推進する。
細街路拡幅整備事業（助成）	11-05-01	54,988	43,050	31,521	24,851	重点的に推進	重点的に推進	密集地域の防災性の向上及び住環境改善を図る事業であるため、重点的に推進する。
合計		1,208,742	1,105,496	1,265,826	1,146,017			